

日本大学学長特別研究／N.（エヌドット）国際救助隊

研究プロジェクト名

N.（エヌドット）国際救助隊による災害復興、教育支援のための学生「絆」プロジェクト

研究代表者

デザイン学科 教授 木村 政司

この研究プロジェクトは平成25年度・26年度の日本大学学長特別研究「N.（エヌドット）国際救助隊による災害復興、教育支援のための学生『絆』プロジェクト」として採択された。東日本大震災を契機に、その後1年以上に渡って被災地復興で生じている課題や地方の過疎地域で生じている医療、教育の問題、さらには高度成長期の時代に整備された生活インフラ老朽化の問題など、現地に赴いて対策せねばならない社会問題に対して、大学がどのように支援できるかを検証する。

日本大学の「知」を俯瞰で探求し、高いモビリティを実現させるために地域の「災害復興支援」「医療福祉支援」「教育支援」のためのコンテンツを、研究者や学生たちと社会実験を繰り返しながら社会還元する方法を開発することで、世界の舞台で活躍できる人材を育成することにコミットした研究プロジェクトである。

実施した多くの社会実験や発表、研究成果の展示等をN. RESCUEのブランドで括り、日本大学の「知」を社会に還元する。

様々な学部から日本の宿命といえる防災について、研究者と学生たちが専門の研究によって繋げる未来を還元する学生の『絆』づくりを目指し、以下の社会実験を行う。

- ①スマートモビリティシステムの開発・設計・運用
- ②災害支援システムの研究開発
- ③感染症と予防医学のための教育支援
- ④災害支援における口腔機能回復を目指した教育支援
- ⑤生物多様性保全や生態系保全およびその健全化の教育支援
- ⑥国際地域開発のための災害支援システムの教育支援
- ⑦食品科学・栄養科学・生物学の出前実験講座の教育支援
- ⑧災害支援における食品分析の教育支援
- ⑨化学教育支援教材開発
- ⑩物理教育支援教材開発
- ⑪高齢者のために支援するデザイン開発

- ⑫地域資源を活用した地域間連携プログラムの開発
- ⑬「かわす」「逃げきれる」まちづくりの開発
- ⑭水上空港ネットワーク構想の開発
- ⑮人力飛行機の開発
- ⑯パーソナルモビリティの開発・検討
- ⑰津波・原発災害からの生活・コミュニティ再建支援
- ⑱福島の子どもたちへの教育支援
- ⑲うなぎプラネット～うなぎの保全教育支援～
- ⑳企業文化・経済システムの統合に関する教育支援
- ㉑芸術・芸能・エンタテインメントを文化として体験させる教育支援

